

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
N202	現代会計論Ⅱ	2年	講義	2	飯島二郎
授業概要 企業会計とは、企業が営む経済活動およびこれに関連して発生する経済事象について、貨幣価値で認識・測定・記録・報告するシステムです。現代会計論Ⅱでは、企業外部の利害関係者に対して、大企業の一定期間の経営成績と一定時点の財政状態を報告する財務会計について学習します。連結会計や税効果会計などを学習します。					
到達目標(学習の成果) 企業会計原則、会社法を理解し企業の会計処理、とくに連結会計や税効果会計、外貨換算会計などの知識を身につける。連結会計や外貨換算会計を理解し、財務諸表の作成ができる知識・技術を身につける。(DP2) 日商簿記検定試験1級レベルの問題が解けるような実力が身につけられるよう努力してください。					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	企業会計原則	一般原則・損益計算書原則・貸借対照表原則			
2	棚卸資産	棚卸資産の取得原価と費用配分, 棚卸資産の評価, 売価還元法			
3	割賦販売	割賦販売の売上収益計上基準と会計処理法			
4	委託販売	委託販売の売上収益計上基準と会計処理法			
5	工事契約	工事契約に係る認識基準, 工事完成基準, 工事進行基準			
6	有形固定資産	取得原価の決定と減価償却, 有形固定資産の売却・除却・買換え, 圧縮記帳			
7	リース取引	リース取引の分類と会計処理			
8	退職給付会計	退職給付債務・年金資産の会計処理, 数理計算上の差異			
9	社債	普通社債の会計処理, 買入償還と抽選償還, 減債基金と減債積立金			
10	外貨換算会計	外貨建取引の会計処理, 外貨建有価証券, 為替予約			
11	企業結合, 合併	企業結合・合併の会計処理,			
12	連結会計Ⅰ	連結財務諸表の作成方法,			
13	連結会計Ⅱ	支配獲得日の連結(連結貸借対照表の作成)、投資と資本の相殺消去			
14	連結会計Ⅲ	支配獲得日後の連結			
15	連結会計Ⅳ	子会社株式の追加取得, 支配獲得までの段階取得, 内部取引高と債権・債務の相殺			

準備学修(授業外の自己学修)

授業に出席する前に、必ず自ら問題を解き、理解できた内容と不理解の分野を明らかにしてから受講してください。学習内容を理解できても誤りなく正確に迅速に会計処理ができなければ本講義の目標を達成することはできません。繰り返し問題を解いて実力を向上させてください。

成績評価の方法・基準(%表記)

学期末試験 60%， 小テスト 20%， 課題等の提出 20%

観点	S	A	B	C
さまざまな取引のな会計処理を理解している	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。
連結会計の財務諸表作成の仕組みを理解している	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。
各種の財務諸表作成の知識と作成技術を理解している	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。

教科書

『サクッとわかる 日商1級』 商業簿記・会計学3 テキスト』 ネットスクール出版

参考書等

『サクッとわかる 日商1級』 商業簿記・会計学3 トレーニング』 ネットスクール出版

履修上の注意・学修支援

本講義を履修する場合は、『現代会計論Ⅰ』を履修しておく必要があります。

この授業は自主的な学習を基本にします。テキストを何度も読み込んで問題を解くなど、必ず予習をしてください。もし自主学習を進められない分野・内容がある場合は、事前に必ず相談してください。毎日1時間以上の自主学習を必ず定着させてください。